

ANY-CUBE 電子マネーサービス連動 (マルチ決済端末連動) ご提案資料

ヴィンキュラム ジャパン株式会社

※詳細・費用等については、お手数ですが、ホームページ お問い合わせフォームからお問合せ下さい。
※この資料記載の仕様等については、2010年06月現在のもので、予告なしに変更される場合があります。

店舗・事業者にとって...

①収益増加

「客単価アップ」

…利用金額に応じてポイントが付く場合、あとxx円でもうxポイント付与といった際、さらに購入するといったケースがある。

「集客力の向上」

…電子マネーが利用できるので来店するきっかけとなり、買い物するケースが、交通系ICやポイント付与タイプの電子マネーで見られる。

②コスト削減

「小銭が要らなくなる」

…釣銭として準備しておく硬貨の量が減少するため、回収や補充の回数が減少する。銀行で両替時に必要な手数料も削減可能。

「決済時間(スピード)の短縮による生産性の向上」

…現金授受が不要になるため、レジ精算時間が短縮できる。また硬貨を扱わない分、釣銭間違いや不正を防止できる面もある。

利用者にとって...

①手軽に買い物ができる

「小銭が不要」

「レジ決済スピードが早い」

②現金での買い物より特典がある

「ポイントが貯まる」※一部カード除く

「電子マネー独自割引・値引のサービスが受けられる」

利用可能店舗の拡大と単独マネー決済から複数マネー決済へのシフト

- ①従来電子マネーを利用できなかった店舗で電子マネーを利用できるようになってきている。
- ②従来1種類の電子マネーしか使えなかった店舗で複数規格の電子マネーが使えるようになってきている。

会社名	店舗数	利用可能電子マネー
ファストフード A社	約3,200	Edy/iD/WAON
飲食B社	約1,100	WAON
物流C社	約3,900	Edy/nanaco/WAON
CVSA社	約12,700	nanaco/QUICPay/Edy/iD
CVSB社	約8,600	iD/QUICPay/Edy/ VISATOUCH/Smartplus/ Suica/ICOCA/PASMO/他交通系IC

※2010年4月 各社HPより

お客様の利便性に対応するため、マルチ決済端末のニーズが高まっている。

マルチ決済端末のご紹介
NEC社製、GLORY社製 の2社の端末が代表的です。

NEC マルチサービスターミナル



GLORY電子マネー決済ソリューション

マルチリーダー PFM-10



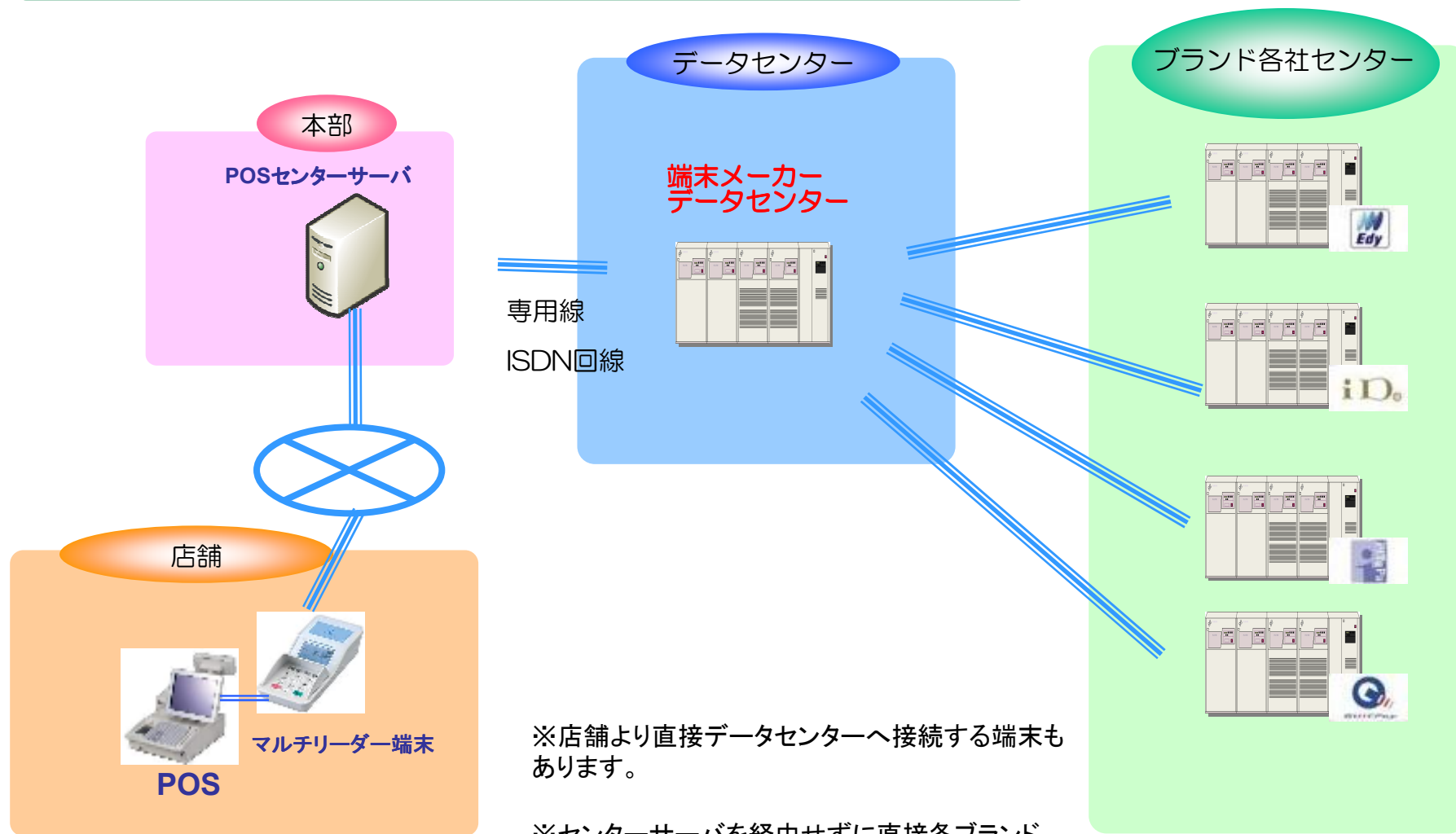
GCAN

※メーカーの都合により、製品提供状況や概観・名称の変更が発生する場合があります

**ANY-CUBEでは、マルチベンダー対応可能のため、用途に応じて
機器を選定いただく事ができます。**

※各端末の費用が別途必要となります。
※通常、各端末の費用には、使用ブランド毎に対応ソフトウェアが必要となります。
※データセンターを利用する形態の場合、別途、月額利用料が必要となります。

■ 電子マネーシステムイメージ

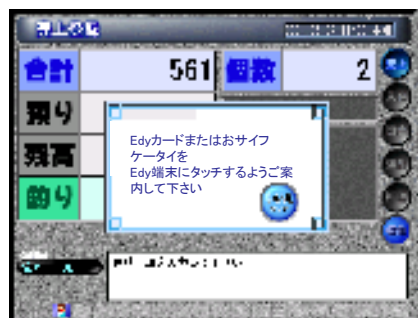


※店舗より直接データセンターへ接続する端末もあります。

※センターサーバを経由せずに直接各ブランド会社のセンターへ通信する端末もあります。

■ 電子マネー操作イメージ（例）

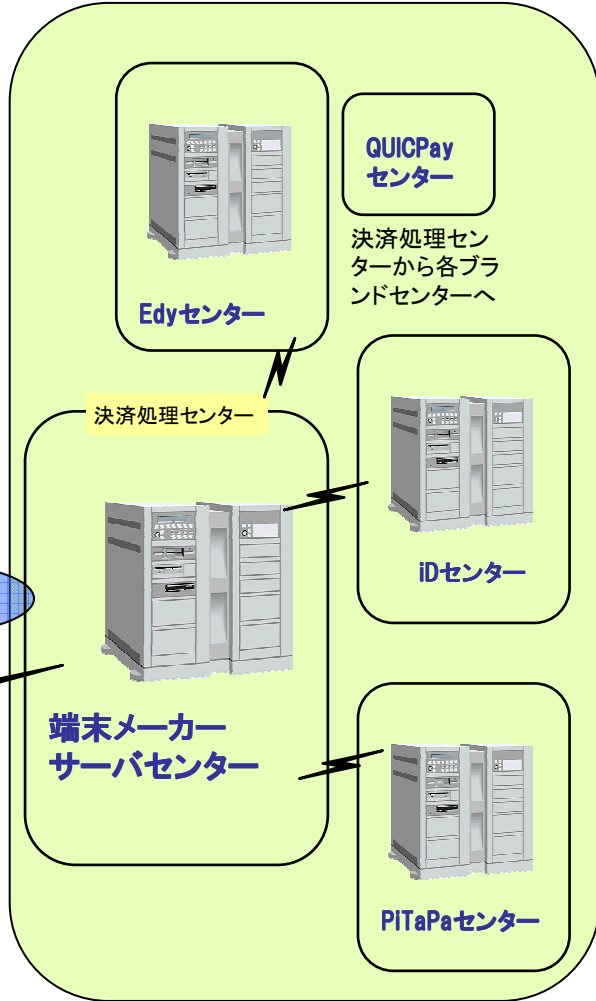
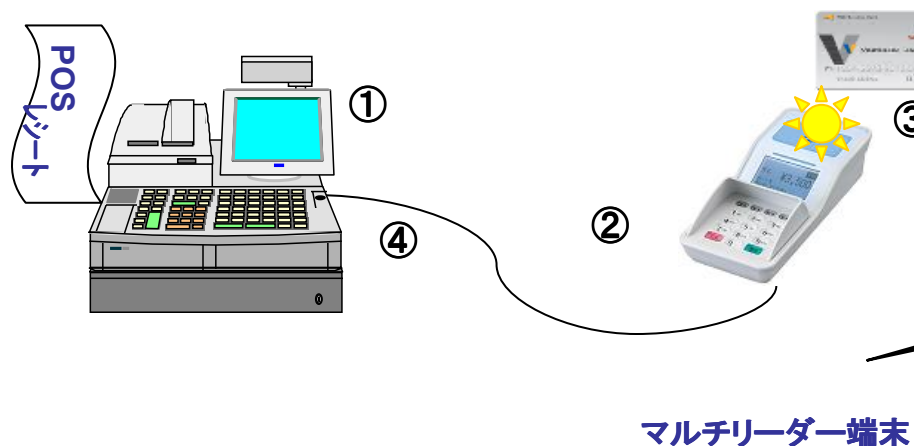
①POS支払画面にて支払金額を入力し、各【電子マネー(Edy/iD等)】ボタンを押す



②選択したブランドと支払金額情報を端末側へ送信

③端末にカードを読ませる（購買者）

④決済結果がPOSに通知される

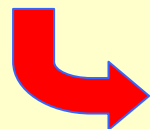


■ 導入のおおまかな流れ

1. ブランド(電子マネー)を選ぶ
(後から追加も可能)



2. 電子マネー事業者と加盟店契約



3. 回線を決定する



4. 電子マネー検定、導入テスト



5. 導入・稼動